BUFFALO

WLI-PCM-S11G マニュアル らくらく! セットアップシート

このたびは本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

1 はじめにすること

AirStationを使う前に、無線LANカードのセットアップをおこないます。まず、パソコンにAirNavigator CDをセットしてください。パソコンにCDをセットしたら、「2 インストール」に進んでください。

メモ ・WindowsXP/2000で使用する場合は、コンピュータの管理者権限があるユーザー(Administrator等)でログインしてください。WindowsXP/2000で登録したユーザーは、制限つきアカウントに設定しない限り、コンピュータの管理者権限を持っています。WindowsXPで、ユーザーアカウントの権限を確認するには、[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選択してください。

・NEC製PC98-NXシリーズで「CyberTrio-NX」がインストールされている場合は、あらかじめ「アドバンストモード」に設定してください。「アドバンストモード」以外の場合、本製品のドライバが正常にインストールできないことがあります。設定方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。

PCカード接続のCD-ROMドライブをご使用の方へ

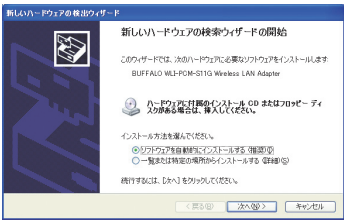
PCカードスロットが1つだけのパソコンでは、CD-ROMドライブと本製品を同時に使用できません。あらかじめ、以下の操作をおこなってください。

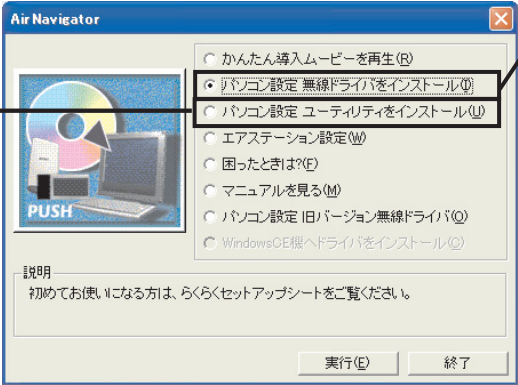
1 デスクトップ上に新しいフォルダを作ります。

2 AirNavigator CD内のすべてのファイルを、そのフォルダにコピーします。

3 コピーが終わったら、コピー先の[SETUP]アイコン( )をダブルクリックします。

2 インストール

本製品はまだ接続しないでください

本製品はドライバのインストール後に取り付けます。

メモ インストール前に取り付けると、左のような画面が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、無線LANカードを取り外してください。

1 「パソコン設定 無線ドライバをインストール」を選択して、[実行]をクリックします。

「無線ドライバ インストーラ」画面が表示されますので、メッセージに従って、ドライバをインストールします。

2 「パソコン設定 ユーティリティをインストール」を選択して、[実行]をクリックします。

3 [終了]をクリックして、以下の「3.ネットワークへの接続方法」へ進みます。

3 ネットワークへの接続方法

接続方法は、下記の2通りがあります。それぞれの場合に応じて設定してください。

A AirStationなどのアクセスポイントに接続して使う / FREESPOT(※)で使う

B 無線LANパソコン間で通信する

※ FREESPOTとは、無線LANでインターネットにアクセスできる環境をお客様に開放し、自由に使っていただけるエリア・サービスのことをいいます。

メモ AirStationの設定をする場合は、AirStationのマニュアルを参照してください。

A AirStationなどのアクセスポイントに接続して使う / FREESPOTで使う

メモ ・ご家庭やオフィスなど、同じアクセスポイントで使う場合、初回だけ以下の操作でアクセスポイントを選びます。2回目以降は選ぶ必要はありません。

・FREESPOTなど、使うアクセスポイントが決まっていない場合、毎回はじめに以下の操作でアクセスポイントを選んでください。

WindowsXPをお使いの場合

ワイヤレスネットワークの接続画面で設定します。

1 タスクトレイにある「ネットワーク接続」アイコン( )を右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]を選択します。

2

① アクセスポイントのESS-IDが表示されますので、選択します。

② 暗号キー(WEP)が設定されたアクセスポイントに接続するときは、「ネットワークキー」欄に暗号キーを入力します。(「ネットワークキーの確認入力」欄が表示されない場合は、「ネットワークキー」欄にだけ暗号キーを入力してください。)

③ チェックマークが外れていることを確認します。(この項目が表示されていない場合、次の④へ進んでください。)

④ [接続]をクリックします。

メモ ・ESS-IDが一つも表示されない場合は、AirNavigator CD内の「困ったときは」内の「接続したいAirStationが表示されません」を参照してください。

・「このワイヤレス ネットワークはセキュリティで保護されていません。」と表示された場合は、「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレス ネットワークへ接続する」をチェックしてください。

・複数のESS-IDが表示されたときは、ESS-IDの値で接続するアクセスポイントを判別してください。

・AirStationのESS-IDの出荷時設定は、AirStationのマニュアルを参照してください。

3 正しく接続するとタスクトレイに「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

4

タスクトレイの「ネットワーク接続」アイコン( )をクリックすると、接続状態を確認することができます。

①通信速度(速度)と電波の強さ(シグナルの強さ)を確認できます。

②確認したら、[閉じる]をクリックします。

以上で無線に関する設定は完了です。

無線に関する設定が完了したら、TCP/IPを設定します。Windowsのマニュアルやヘルプを参照して設定してください。またAirNavigator CD内の**電子マニュアル「TCP/IPの設定例と共有設定例」(「設定ガイド ネットワーク構築例」内に収録)**にも設定例が記載されていますので、参考にしてください。

メモ 電子マニュアルの読みかたについては、本紙裏面の「電子マニュアルの読みかた」を参照してください。

Windows2000/Me/98をお使いの場合

クライアントマネージャで設定します。

1 クライアントマネージャ

デスクトップ上の「クライアントマネージャ」アイコンをダブルクリックして、クライアントマネージャを起動します。

メモ デスクトップ上に「クライアントマネージャ」アイコンがない場合は、[スタート]-[プログラム]-[MELCO INC]-[エアステーションユーティリティ]-[クライアントマネージャ]を選択します。

2

「FREESPOT」アイコンをクリックします。

3

①アクセスポイントのESS-IDが表示されますので、選択します。(表示されない場合は、以下のメモを参照してください。)

②上で選択したESS-IDが表示されることを確認します。

③暗号キー(WEP)が設定されているアクセスポイント(「暗号化」欄が「○」のもの)に接続するときは、ここに暗号キーを入力します。

メモ ・暗号キーを入力する際は、通常は「送信キー番号」を「1」に設定してください。

・複数の暗号キーに対応しているアクセスポイントに接続する場合は、「送信キー番号」とそれに対応した暗号キーを入力してください。

④[接続]をクリックします。

メモ ・ESS-IDが一つも表示されない場合は、接続するアクセスポイントのESS-IDを直接「接続先ESS-ID」欄に入力してください。また、AirNavigator CD内の「困ったときは」内の「接続したいAirStationが表示されません」にも対策方法が記載されていますので参照してください。

・複数のESS-IDが表示されたときは、ESS-IDの値で接続するアクセスポイントを判別してください。

・AirStationのESS-IDの出荷時設定は、AirStationのマニュアルを参照してください。

裏面へ続く

4

「電波状態」が表示されたら、AirStationやアクセスポイントへの接続は完了です。

メモ 接続先がAirStationの場合、検索ボタン( )をクリックすると、AirStation名が表示されます。(他社製アクセスポイントやFREESPOTでは、AirStation名は表示されません。)

メモ AirStationやアクセスポイントへの接続後、「転送速度」欄に「2Mbps」など遅い通信速度が表示されることがあります。この場合は、実際に通信をおこなうと正常な通信速度が表示されます。

以上で無線に関する設定は完了です。

無線に関する設定が完了したら、TCP/IPを設定します。Windowsのマニュアルやヘルプを参照して設定してください。またAirNavigator CD内の**電子マニュアル「TCP/IPの設定例と共有設定例」(「設定ガイド ネットワーク構築例」内に収録)**にも設定例が記載されていますので、参考にしてください。

メモ 電子マニュアルの読みかたについては、本紙の「電子マニュアルの読みかた」を参照してください。

B AirStation やアクセスポイントを使わずに無線 LAN パソコン間で通信する

設定に必要な手順は、AirNavigator CD 内の**電子マニュアル「無線 LAN パソコン間で通信する場合の設定方法」(「設定ガイド ネットワーク構築例」内に収録)**を参照してください。

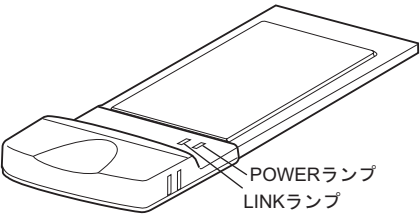
メモ
- WindowsXP の場合、Windows 標準のワイヤレスネットワーク機能を無効にする必要があります。詳しくは、AirNavigator CD 内の電子マニュアル「無線 LAN パソコン間で通信する場合の設定方法」(「設定ガイド ネットワーク構築例」内に収録)を参照してください。
- 電子マニュアルの読みかたについては、以下の「電子マニュアルの読みかた」を参照してください。

電子マニュアルの読みかた

1 AirNavigator CDをパソコンにセットする。

2 [マニュアルを見る]を選択して、[実行]をクリックします。

3 「ネットワーク構築例」を選択して、[OK]をクリックします。

4 表示させたい項目を選択して、[OK]をクリックします。

メモ パソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされていないときは、Adobe Acrobat Readerのインストールが始まります。画面の指示にしたがって、インストールを完了してください。

無線 LAN カードの取り外し

Windowsの動作中に本製品を取り外すときは、以下の手順に従ってください。Windowsバージョンによって、取り外し方法が異なります。

1 クライアントマネージャが起動している場合は、終了させます。

2 タスクトレイに表示されている取り外しアイコン( )をクリックし、[BUFFALO WLI-PCM-S11G Wireless LAN Adapterを安全に取り外します(停止します)]を選択します。

メモ 取り外しアイコンは、Windowsによって異なります(WindowsMe/2000: Windows98/95:)。

3 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK]をクリックして本製品を取り外します。WindowsXPの場合、メッセージ画面に[OK]はありません。そのまま本製品を取り外してください。

各部の名称とはたらき

名称	はたらき
POWERランプ	点灯(緑):動作時
LINKランプ	点灯(緑):AirStationと接続時 点滅(緑):AirStationと接続していないとき ※AirStationを使用せずに無線LANパソコンのみで通信している場合(アドホックモード)は、常に点灯(緑)します。

困ったときは

AirStation やアクセスポイントが検出されないなどの問題がある場合は、AirNavigator CD 内の「困ったときは?」を参照してください。

パッケージ内容

パッケージには次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、弊社までご連絡ください。

- □無線LANカード(本体)............... 1枚
- □AirNavigator CD................... 1枚
- □らくらく!セットアップシート(本紙). 1枚
- □安全にお使いいただくために 必ずお守りください................ 1枚
- □ユーザー登録はがき・保証書......... 1枚

※本製品は、AirNavigatorの説明画面と本紙によってセットアップや設定ができるため、冊子のマニュアルは添付しておりません。さらに詳細な情報が必要な場合は、AirNavigator CD内の電子マニュアルを参照してください。

※ユーザー登録はがきは、保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

仕様

無線LAN インターフェース	準拠規格	RCR STD-33, ARIB STD-T66 (小電力データ通信システム規格)
		IEEE802.11b (無線LAN標準プロトコル)
	伝送方式	DS-SS方式(IEEE802.11準拠) 半二重(Half Duplex)
	通信距離	11Mbps時屋外160m(見通し)、屋内 50m(見通し)、屋内 25m(見通し) 2Mbps時屋外400m(見通し)、屋内 90m(見通し)、屋内 40m(見通し) 1Mbps時屋外550m(見通し)、屋内115m(見通し)、屋内 50m(見通し) ※屋内障害物の少ないオフィス屋内障害物の多いオフィス ※通信距離は環境により影響されます。次の場合、電波の届く距離が短くなることがあります。 ・マンション等の鉄筋コンクリートの建物内、及び構造に金属が使用されている住宅 ・大型の金属製家具の近くなど。
ホスト インターフェース	転送方式	JEIDA4.2/PCMCIA2.1
出荷時設定	通信モード	インフラストラクチャモード
	ESS-ID	000000GROUP
対応パソコン (*1、2、3、5)		3.3V対応のPCカードスロット(TYPEII)を搭載した、以下のパソコン ・DOS/V(OADG仕様) ・PC98-NXシリーズ
対応OS (*4)		WindowsXP / Me / 2000 / 98SE (Second Edition) / 98
送信周波数範囲 (中心周波数)		2412 ~ 2484MHz(全14チャンネル)
データ転送速度		11M / 5.5M / 2M / 1M (bps)
セキュリティ		128(104) / 64(40)ビットWEP
消費電力/電流		最大1056mW/最大320mA
動作環境		温度:0 ~ 55℃ 湿度:20 ~ 80%(結露なきこと)
重量		41g
外形寸法		54.0mm(W)×5.0mm(H)×114.0mm(D)(突起部7.0mm)

*1 本製品は弊社製無線LAN製品やWi-Fi認定済みの無線LAN製品、およびAirMacと通信できます。ただし、AirMacと通信する場合は、弊社製AirStationを使用する必要があります。

*2 デュアルプロセッサ搭載機種には対応していません。

*3 弊社製プリントサーバLSPシリーズおよび弊社製ネットワーク診断ツールNetSeekerには対応していません。

*4 WindowsのACPI機能には対応していません。

*5 PCカードドライバが「02Micro CardBUSコントローラ」、「Cirrus Logic CardBusコントローラ」および「Toshiba CardBus Controller(ToPIC)」の場合は、動作保証しません。

メモ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照してください。

■電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ(環境により電波が届かない場合があります。)
  ※ 弊社製無線プリンタバッファ(RYP-G)、他社製の無線プリンタバッファなどで2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
- 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解/改造すること
  - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  - 産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    ①構内無線局(免許を要する無線局)
    ②特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- 本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

らくらく!セットアップシート WLI-PCM-S11G
2003年 2月 24日 第2版発行 発行 株式会社メルコ